お元気ですか つかじさちのフレッシュ便

第1009号

日本共産党高知県議会活動報告ニュース
2021年 10月 10日発行
電話 088−823−9524（議会控室）
088−843−9281（自　宅）

総選挙本番にかかるため、10月中のこのニュースはお休みとなります。

ただいま県議会中（14日閉会）

省エネ支援一層必要

高知 中根氏 気候危機ただす

日本共産党の中根佐知高知県議は29日、県議会で代表質問に立ち、気候危機打開の問題などをただしました。

中根氏は「産業部門において省エネ化を進めるには支援策の一層の充実が必要だ」と指摘。中村剛林業振興・環境部長は、さらに充実・強化していく必要がある、検討を深めていくと答えました。また、中根氏は屋根上の太陽光発電の設置について「支援策を検討すべき時だ」とのべました。中村氏は県内の設置率は9・1%にとどまっており、検討していくと答弁しました。

高知県は出産できる病院が中央医療圏に集中し、幡多には2施設、安芸には1施設しかなく、高幡にはありません。中根氏は新日本婦人の会県本部が集めたアンケートに郡部から寄せられた「産婦人科が遠く、お産に間に合わず、救急車を利用した」「3人目を妊娠中だが、初診に行きたくても、1カ月以上、予約がとれない」などの切実な声を紹介。出産できる病院のない地域の解消を求めました。家保英隆健康政策部長は産婦人科医師の確保と人材育成が必要だと答弁。

中根氏は第2問で高幡地域に1施設つくるなど具体的にスピードきだと迫りました。家保氏は医師の派遣元の高知大学医学部とも話しながらできるだけ早い段階で医師を派遣できるところを具体化していく意向を示しました。

10月1日付 しんぶん赤旗より

さあ、政権交代をはじめましょう

総選挙 10月19日公示 31日投票へ!!

岸田内閣は、コロナ対策、経済施策、投票を見る会等の疑惑解明にどう立ち向うのか、をちゃんと国民と国会に示してから総選挙に臨むのが誠実ある対応です。予算委員会も逃げる姿に不信感です。

5日、県庁前で白川、中根予定候補と訴えました。

わるがも日記

No1007

岸田総理「人の話を聞くのが得意」「確かによくきいている」安倍元総理。という笑うに笑えない、一言コント。

格差と貧困を広げた麻生氏を副総裁に、金銭疑惑にフタをする甘利氏を幹事長にという人事に到っては「あっそう！あんまりや（怒）」の声。

ブツブツ文句を言っても変えられませんが、確実に変えられる手段を私たちは持っています。それは「投票」です。「一票一揆」にば長い時間もお金もかかりません。必ず、お出かけください。